

令和2年度岡山医療専門職大学事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I 事業の概要

岡山医療専門職大学は健康科学部理学療法学科、作業療法学科2学科を設置する専門職大学として令和2年4月1日に開学した。令和5年度を到達点とするビジョンと、そのビジョンを達成するために令和2年～5年度の4ヶ年計画を定めた。

【岡山医療専門職大学 学年進行期におけるビジョンと目標】

<ビジョン>

大学としての基盤を確立し、ワンランク上の人材を育成し、学生が学生を呼び、地域社会から評価され尊敬される大学に成長し、中国地方唯一の専門職大学の責務を果たす。

<目標>

- ・質を伴う学生を安定的に確保する。
- ・専門職大学としての教育の水準と実績を担保する。
- ・「実践の理論」を重視した研究活動を推進する。
- ・教員の資質と力量の向上に努める。
- ・地域間及び大学間連携を推進する。
- ・大学としての品格を深める。

令和2年度は前記目標の初年度の達成度について検証する。

まず「学生の安定的な確保」については、認可の時期的な問題もあったが、充足率35.8%と低率であった。この結果を受けて、次年度からはオープンキャンパスをはじめとするあらゆる機会を通じて受験生への本学の周知徹底を図り、充足率の改善に努める。3つ目の項目「研究活動」については、令和2年度の学術業績は、執筆活動では、英文25編、和文13編、和文著書2編、学会発表では、国際学会4回、国内学会14回と、研究活動においては初年度としては期待以上に非常に活発であった。2つ目の「教育の水準と実績の担保」と4つ目の「教員の資質と力量の向上」については、学外講師によるFD活動に加えて、毎週定期的に教員全員が集まってFD活動の一環としての勉強会を開催し、各教員の教育に対する姿勢や考え方、実践方法等や研究に関する知識や情報を発表し、教員の資質と力量の向上に努め、教育の水準と実績の担保を図るべく努力した。5つ目の「連携」に関しては、「大学コンソーシアム岡山」に新たに参入し、2回開催された代表者会議に出席し、各大学との意見交換を行った。また大学コンソーシアム岡山が主催する各種会議やイベントへの参加により、大学間および地域との連携を図った。さらに新たに発足した全国の専門職大学で組織される「専門職大学コンソーシアム」に参画(Web会議)して意見発表を行い、専門職大学間の連携を図った。最後の「大学としての品格」については、将来の医療人に必要な接遇について解説した「学生の品格」と題する小冊子(B5版 61ページ)を製作し全学生に配付した。

このような初年度の活動を総括すると、充足率の問題を除いた他の目標については、ほぼ順調にスタートできたと思われる。

具体的な大学運営としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から第1期生の

入学式を断念した。一方、全国的に教育環境の崩壊ともいえる状況に陥っていたが、本学では「学生の健康が第一」と「教育の場と質の担保」の両立を目指して、いち早く「新型コロナウイルス対策委員会」を設置し、種々なる徹底した感染対策を行うことにより、全国の大学では数少ない年間を通しての全科目の対面授業の実施に成功した。

本学では、ディプロマポリシーに掲げる人材育成のため、教育内容の検討、カリキュラム整備、FD研修、広報活動などに取り組んだ。

臨床実習については、令和3年2月に学外にて見学実習の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から医療機関での実施は行わず、医療機関から講師を派遣もしくはZoomを利用したWEB講義で代替した。代替実習であったが、学外講師からは臨場感あふれる授業の提供を受け、終了後の学生評価では97%の満足及びほぼ満足との評価を得た。令和3年度以降の臨地実務実習については、実習内容がより有意義な実習となるように再検討を行った。実習施設については、新規実習先確保のための活動を実施した。

また、専任教員の専門知識・指導力向上を目的とし、学内外での研修に積極的に参加し自己研鑽を行った。FD研修として毎週、全教員が集まって勉強会を実施し、各教員間の教育に関する実践方法や研究紹介などを行い、情報共有を図り、教育の質の向上を図った。さらに学会発表、学術雑誌・紀要に投稿する等、積極的に研究活動にも精進した。

II 事業報告

1. 教育領域

本学では、全国的なコロナ禍においても、「学生の健康が第一」と「教育の場と質の担保」の両立を目指して、徹底した感染症対策を行うことにより、全国の大学では数少ない年間を通しての全科目の対面授業の実施に成功した。また本学では、ディプロマポリシーに掲げる人材育成のため、教育内容の検討、カリキュラム整備、国家試験サポート等に取り組んだ。

(1) 教育内容改革

令和2年度の教育課程としては、1年次生であるため、大学入門と基礎科目が中心となる。前者においては、10人以下の小グループ教育となるため、担当教員は綿密な連携を図り、各グループ間での教育内容の調整や質向上を図った。後者においては、コミュニケーション英語では、臨場感をもった内容に工夫するなど、将来の医療人の基盤となる資質の涵養に努めた。

(2) カリキュラム整備

現在学年進行中であるため、原則的にはカリキュラムの変更・整備を行うことができない。一方、教育課程連携協議会で指摘を受けた内容については対応可能とのことであるが、今年度は協議会からの指摘はなかったため、現時点では具体的な変更・整備は行っていない。

(3) 国家試験サポート

国家試験対策委員会を組織し、組織的に、より効果的な国家試験対策を検討し、国家試験対策指導に反映し、1年次から模擬試験を実施するなど、学生に対して国家試験への意識づけを図った。「スマコク for PT/OT」を導入しアプリケーションを利用した国家試験対策を1年次から実施した。

(4) 教育サポート

・実践英語レッスン

ベルリッツランゲージセンター岡山と契約し、ネイティブ講師による英会話レッスンを週に2回、前期、後期で実施した。

(5) 行事・交流関連（学内・学外）

・新入生歓迎会

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、学科単位で新入生歓迎会を実施し、教員と学生の交流を図った。

・節分行事（4校合同豆まき大会）（2月）

三密を避けるために恒例の豆まきは実施せず、クラス単位で豆セットを配布した。

・防災避難訓練（4月避難経路確認、他1回実施）

2. 研究領域

(1) 科研費の獲得状況

令和2年度の科研費採択状況は、基盤研究（C）2件、若手研究1件の3件となった。

研究種目 基盤研究(C)

研究課題名	研究代表者			2020年度 直接経費 ※単位千円
	所属	職	氏名	
成長期の女子中学・高校生におけるDNA損傷・修復能力に基づいた部活動水準の探求	健康科学部	教授	安田 従生	1,250
点うち課題アプリによる注意制御能力評価に基づく活動能力スクリーニングテストの開発	健康科学部	教授	二木 淑子	700

研究種目 若手研究

研究課題名	研究代表者			2020年度 直接経費 ※単位千円
	所属	職	氏名	
運動器血管障害における終末糖化産物の役割解明と運動による新規治療メカニズムの探索	健康科学部	助教	田中 雅侑	860

(2) その他の研究費獲得状況

助成団体：2020年度日本糖尿病協会若手研究者助成（日本糖尿病協会）

研究代表者：片岡弘明（健康科学部理学療法学科 准教授）

助成金額：980,000円

3. 教育・研究活動の質の保証と向上

専任教員の専門知識・指導力向上を目的とし、学内外での研修に積極的に参加し自己研鑽を行った。また専任教員の授業能力や教育効果を高めるためのFD研修を、学部長を中心に毎週実施した。全教員が集まって勉強会を実施し、各教員間の教育に関する実践方法や研究紹介などを行い、教育の質の向上を図った。この勉強会は、各教員の教育に対する姿勢や考え方、実践方法等や研究に関する知識や情報の共有を図ることができ、連携を強めることができた。また勉強会で得られた知識を教育現場へフィードバックすることにより教育の質を高めることができた。さらに学会発表、学術雑誌・紀要「岡山健康科学」を発刊する等、積極的に研究活動にも精進した。教職員の資質向上のためにSD活動の強化にも努め、事務専門職としての能力を高めた。

前期・後期の講義最終日に学生による授業評価アンケートを実施しその結果を講義担当者にフィードバックし、講義内容や構成の改善に役立てた。授業評価アンケート結果は、大学ホームページで公表している。

(1) FD研修

日程	時間	テーマ	講師
2020.04.01	15:00～ 16:30	大学教育システム・教員のあり方	浅利 正二学長
2020.05.27	16:30～ 17:30	Moodle 利用による遠隔授業研修会	理学療法学科 小野 俊朗学科長
2020.06.10	16:30～ 17:30	Moodle 利用による遠隔授業研究会（オンライン）	株式会社イーラーニング 森 万見子氏
2020.06.17	14:00～ 15:20	認知症の疫学	窪山 泉学部長
2020.07.01	13:30～ 14:30	ガン免疫と抗原探求	理学療法学科 小野 俊朗学科長
2020.07.15	13:00～ 14:00	疾患の発症機序に基づく治療戦略の探究	作業療法学科 勅使川原 匡教授
2020.07.22	13:00～ 14:00	①脳卒中患者の筋力発揮率 ②授業方法の検討	理学療法学科 下瀬 良太准教授
2020.07.29	13:00～ 14:15	未破裂脳動脈瘤今昔物語—くも膜下出血は予防できるか？ 未知の世界への挑戦の物語—	浅利 正二学長
2020.08.05	13:00～ 14:25	半側空間無視と関連症状	作業療法学科 二木 淑子教授
2020.08.19	13:00～ 14:00	近赤外分光法と3次元動作解析	理学療法学科 山田 英司教授
2020.09.02	13:00～ 14:10	Extreme Physiology ～長時間の運動及び短期間の不活動状態が筋に及ぼす影響～	作業療法学科 安田 従生教授

2020.09.09	13:00- 14:00	糖尿病患者の下肢筋力と理学療法	理学療法学科 片岡 弘明准教授
2020.09.16	13:00- 14:10	足部と歩行分析	理学療法学科 増川 武利講師
2020.10.28	13:00- 14:00	理学研究科での研究と理学療法学科での研究	理学療法学科 小島 一範助教
2020.11.11	13:00- 14:10	臨床での作業療法士の仕事～作業療法の一世界～	作業療法学科 渡部 悠司助教
2020.11.18	13:00- 14:10	骨格筋の量や質を保つ介入戦略の探索	理学療法学科 田中 雅侑助教
2020.12.02	13:00- 14:10	半側空間無視～失われた空間を評価する～	理学療法学科 田村 正樹助教
2020.12.09	13:00- 14:10	リハビリテーションニーズと作業療法の実践	作業療法学科 十河 正樹講師
2020.12.16	13:00- 14:00	解剖学教育と3D人体解剖アプリケーションの活用について	理学療法学科 佐々木順造教授・ 渡辺大喜講師
2020.12.23	13:00- 14:00	老年期精神疾患・認知症研究グループでの研究について/地域リハビリテーションを通じた実践的な専門職教育について	作業療法学科 林 聡准教授
2021.01.06	13:30- 14:30	年頭所感	浅利 正二学長
2021.01.27	13:00- 14:00	産業保健領域の理学療法（産業理学療法）の紹介	理学療法学科 明日 徹教授
2021.02.10	13:00- 14:00	私とリハビリテーション工学	作業療法学科 吉田 直樹教授
2021.02.17	13:00- 14:25	論文（書くこと）のすすめ	浅利 正二学長
2021.02.24	13:00- 14:10	Significantosis（有意症）	窪山 泉学部長
2021.03.10	13:00- 14:10	福島被災農地での植物による放射性セシウム吸収	理学療法学科 小野 俊朗学科長
2021.03.17	13:00- 14:10	糖尿病治療薬について	作業療法学科 勅使川原 匡教授
2021.03.24	13:00- 14:10	Moodle を利用した講義の実例と作成方法～初級編～	理学療法学科 田村 正樹助教
2021.03.31	13:00- 14:10	先生方へのいくつかの報連相	浅利 正二学長

2021. 04. 14	13 : 00- 14 : 10	授業方法についての検討 ～ () 抜き教材は有効か?～	理学療法学科 横山 暁大講師
2021. 04. 21	13 : 00- 14 : 10	特別支援教育における作業療法	作業療法学科 野口 泰子助教
2021. 04. 28	13 : 00- 14 : 10	演題未定	作業療法学科 二木 淑子教授

(2) SD 研修

日程	時間	テーマ	講師
4月1日	15:00～16:30	大学教育システム・教員のあり方	浅利 正二学長
4月3日	10:00～10:30	大学広報について	難波 裕和氏
5月27日	16:30～17:30	Moodle 利用による遠隔授業研修会	小野 俊朗氏
6月10日	16:30～17:30	Moodle 利用による遠隔授業研究会 (オンライン)	株式会社イーラーニング 森 万見子氏
8月20日	16:30～17:30	修学支援新制度について	神崎 理恵氏
8月27日	16:30～17:30	広報活動について	松本 知氏
9月17日	16:30～17:30	入学者選抜について	國枝 広氏

4. 学生支援

(1) 経済支援・奨学金制度

岡山医療専門職大学では優秀な学生を確保することを目的として、次の奨学金制度を設け、本山学園奨学基金より支弁している。令和2年度より本山学園特待生制度の免除額を拡充した。

・本山学園特待生制度

総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校制推薦・公募制推薦）合格者、一般選抜（1次）受験者に対し、チャレンジ試験（特待生試験）を実施し、優秀な成績を収めた者を特待生として授業料を免除した。

ランク S 146 万円、ランク A 73 万円、ランク B 30 万円支給

・特別奨学金

特別奨学生入試ならびに一般入試での成績優秀者に対して 30 万円を支給した。

・親族割引制度

親族が本学、岡山医療技術専門学校、インターナショナル岡山歯科衛生専門学校、西日本調理製菓専門学校（2004年3月以降）を卒業または在籍・同時入学の場合、2人目から授業料を免除した。

(2) 同窓会活動

岡山医療専門職大学同窓会を組織し、在学生への支援活動ならびに卒業後の支援を行うため、同窓会の検討を行っていく旨を申し合わせた。

(3) 学友会

学生および教職員から構成する学友会により、学生相互の親睦の向上ならびに福利厚生に関する運営を行うための学友会設立準備会を組織し、学友会活動について検討を行った。

(4) 学生サポート

【オフィスアワー】

学生と教員とのコミュニケーションを充実させるため、オフィスアワーを週2回実施した。

【学生相談室】

安心して学生生活を送れるように学内に学生相談室を開設し、学生からの相談を受けた。また臨床心理士による相談日を毎週水曜日に設け、精神的ケアの充実を図った。

5. 施設・設備の充実

(1) 学内無線 LAN システムの構築

本学では既に新館全フロア、本館の一部フロアに無線 LAN を整備していたが、学生への最適な教育と研究環境を整備するために、新たに本館に無線 LAN 工事を行い、本館・新館共に全館 wi-fi 対応とした。

(2) 教育の情報化推進への取組

授業の遠隔配信等を目的とし、Zoom と Moodle を整備した。令和2年度は全授業を対面授業で行ったが、見学実習では Moodle を利用することで遠隔地の講師からも講義を受講することが可能となった。

(3) 換気・空調システムの導入

新型コロナウイルス感染症対策として、本館講義室、実習室、体育館等に換気性能に優れた空気清浄機を新設するとともに、空調用抗菌フィルターを設置し、クリーンな環境で安心して学生生活を送れるように配慮した。

(4) 講義室及び学生大ラウンジの新型コロナウイルス感染症対策

新館全講義室に机を増加することで、全講義室にソーシャルディスタンスを確保した。また本館2F 学生大ラウンジには各机にパーティションを配置し、飛沫対策を講じた。北及び南入り口にサーモグラフィーを設置し、入構者の体温チェックができるようにした。

6. 社会貢献活動

(1) ボランティア・地域貢献事業

(2) 講師派遣

外部団体からの依頼により教員を派遣した。

7. 健康管理

学生及び教職員の健康管理のため以下のとおり実施した。

【健康診断】

・教職員：4月30日（木）9:00～12:00

・学生：4月30日（木）13:00～17:00 コロナにより中止

5月18日(月) 15:00～17:30 コロナにより再度中止

6月15日(月) 14:40～17:30 に実施

【B型肝炎予防接種】

- ・前検査：6月15日(月) 14:40～17:30
- ・1回目接種：7月3日(金) 15:00～16:00
- ・2回目接種：8月7日(金) 11:30～13:00
- ・3回目接種：1月5日(火) 10:00～11:30
- ・後検査：2月5日(金) 13:00～14:00

【四種抗体検査・予防接種】

- ・前検査：6月15日(月) 14:40～17:30
- ・接種時期：10月～2021年9月頃予定 ※学生により、接種回数・時期が異なる。
- ・後検査：2021(R3)年2年生の10～1月頃、対象者のみ実施予定。

【インフルエンザ予防接種】

- ・学内実施：12月7日(月) 15:00～17:00 ※希望者のみ

8. 合議体活動

(1) 運営評議会

学長、学部長、学科長、大学事務局長で構成され、月2回開催し、運営評議会の運営に関する事項、学部・学科運営に関する事項、教務に関する事項、学生指導に関する事項、学生の身分に関する事項、各種委員会に関する事項、教職員に関する事項、教学関連規程(学則を含む)の改廃に関する事項、教育課程連携協議会に関する事項について審議した。

(2) 教授会

学長、専任の教授、准教授、講師、助教で構成され、月1回開催し、教授会の運営に関する事項、教育課程の編成、変更、実施および講義・実習担当に関する事項、各種委員会に関する事項、学則に関する事項、学生の入学、転入学、編入学、科目履修、聴講、退学、休学、進級、留学、再入学、復学、転籍、除籍および卒業に関する事項、学生の試験に関する事項、学生の賞罰に関する事項、学生活動、学生生活等に関する事項、本規程の改廃に関する事項、その他教学運営上重要な事項について審議した。

(3) 学科会議

各学科学科長、全専任教員で構成され、月2回開催し、学科運営に関する事項、学科学生の教育に関する事項、学科教職員に関する事項等について審議した。

(4) 教育課程連携協議会

学部長、各学科教務委員1名、学長が必要と認めた者1名、企業側等委員、各学科の教授会構成員から選出された者2名、学部全体から選ばれた者1名で構成され、令和2年12月16日、令和3年3月16日の年2回開催した。

(5) 入学者選考委員会

学部長、専任教員4名、大学事務局長担当者1名で構成され、不定期に開催した。入学者

の選考・選抜に関する諸施策の立案・実施、入学者の選考に関する事、入学者選抜試験の内容・配点・採点基準等に関する事について立案した。

(6) 各種委員会

本学の運営を円滑に行うために必要な各種委員会を設置している。各種委員会は、専任教員によって構成される。各委員会で、教務内、学生支援、広報関連等の業務が円滑に進むよう調整される。各委員会の都合により、定期的な会議が開催される。

(設置委員会)

教務委員会、実習委員会、倫理審査委員会、大学紀要委員会、大学FD委員会、大学SD委員会、広報委員会、学生委員会、国家試験対策委員会、大学コンソーシアム岡山（代表者会議、運営委員会、社会人教育委員会、就職支援委員会、共同教育委員会、地域貢献委員会、障がい学生支援委員会 各年2回開催）

(6) 学園各種委員会

本学の設置校全体として連携して行うために必要な各種委員会を設置している。各種委員会は、各校を代表とする専任教員によって構成される。各委員会の都合により、定期的な会議が開催される。

(設置委員会)

学園連絡会議、学園FD委員会、防火防災実務委員会、安全衛生管理委員会、学校法人本山学園ハラスメント委員会

9. 広報活動

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月～5月に開催予定の進学ガイダンスが全て中止となった。同様に県内外共に高校訪問の実施が不可能となった。また本学が開催するオープンキャンパスについても5月16日の体験実習を中止、終日開催予定を半日の時短開催にする等の対応を行ったため、学生募集において大きなダメージを及ぼした。さらにWEBオープンキャンパスの準備や動画制作が遅れたこともマイナス要因となった。しかしながら、WEB広報が遅れた反面、緊急事態宣言の期間にCMを岡山県・香川県に放映することでCM広告の効果は上がった。

広報活動の詳細は次の通りである。

(1) 進学ガイダンス・校内ガイダンス等

広報入試チームと専任教員により進学ガイダンスに参加し、広報に努めた。

また、高校から本校への訪問（高校教員参観を含む）があり、学校説明、体験授業等を実施した。

(2) オープンキャンパス

オープンキャンパスを7回、大学・入試説明会を4回開催した。コロナのため、オープンキャンパスの内、1回は体験授業を中止、2回は時間を短縮して開催した。参加者に対し本学の概要と特色の説明及び学科紹介、体験授業、相談会を行い、1人でも多くの参加者に当校の魅力を伝え、出願に繋げる活動を行った。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策から在校生の参加が3回に限定されたため、学生によるアピールが不足した。

WEB オープンキャンパスを開催し、動画による学校紹介、入学者選抜概要、学科紹介を行った。

(3) 学校見学

学校見学希望者に対しては随時対応し、学校見学、学校説明、入試説明、個別相談を行った。

(4) オンライン個別相談会

Zoom を利用して、オンライン個別相談会を随時実施した。

(5) 高校教員対象説明会 (6月17日)

岡山県内の高等学校教員を中心に、高校教員対象説明会を対面とライブ配信で開催した。学園並びに大学のあり方、教育方針、教育内容の説明を行い、理解度を深めるとともに進路指導に活用していただいた。

(5) TV CM、YouTube 広告

TV CM を5月より放映した。緊急事態宣言の期間に放映したため、CM 効果が上がり、ホームページへ誘導やオープンキャンパス参加のきっかけに結びついた。YouTube 広告については、25万回の再生につながったもののアクションは見られず、効果は少なかった。

(6) インターネット広告

リスティング広告とリターゲティング広告を行った。大学の知名度を高める目的でリスティング広告を行ったが、効果は限定的だった。リターゲティング広告については、既に本学のホームページにアクセスした人を対象に行うため、再度ホームページにアクセスするなど一定の効果は見られた。

10. 入学者選抜改革

令和2年度の入学者選抜の実績を元に、入学者選考委員会で選抜方式、日程、内容等を検討し、総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校制、公募制)、一般選抜、一般選抜大学入学共通テスト利用方式の5つの選抜方式を実施した。令和2年度に実施していた自己推薦入試を総合型選抜に統合し、新たに大学入学共通テスト利用方式を入学者選抜に加えたことにより、成績優秀な人材を確保することに成功した。定員充足にはつながらなかったが、理学療法学科の総合型選抜の志願者数は昨年度比2.7倍となり、全体としては理学療法学科1.9倍、作業療法学科1.5倍となり、志願者数は増加した。

【入学者選抜】健康科学部 (理学療法学科・作業療法学科)

- ・総合型選抜 (9月～1月計5回)
- ・学校推薦型選抜(指定校制) (11月計1回)
- ・学校推薦型選抜(公募制) (11月～12月計2回)
- ・一般選抜 (1月～3月計4回)
- ・一般選抜 (1月～2月計2回)

11. 申請関係

- ・岡山医療専門職大学・理学療法士学校変更届出
- ・校地・校舎変更届

12. 特記事項（新型コロナウイルス感染症関連）

●新型コロナウイルス対策委員会

4月8日、理事長の下に対策本部を設置し、状況により計13回開催した。

●式典について（中止）

- ・開学記念式典
- ・入学式

●イベントについて（中止）

学園祭

●経済的な支援について

- ・学生生活を送るための食費の一部に対する補助（一人あたり4万円補助）

新型コロナウイルス感染症対策助成金により、経済的に支援が必要な学生に食費の一部を補助した。

- ・岡山県産米『きぬむすめ』配布

JAグループ岡山様より岡山県産米『きぬむすめ』2kgを大学コンソーシアム岡山を通じて寄附していただき、学生に配布した。

●授業等について

- ・前期休校期間：4月21日～5月20日

国からの緊急事態宣言の発出と宣言の全国への拡大及び岡山県及び岡山市の対応を受けて、臨時休校とした。

- ・見学実習

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から医療機関での実施は行わず、医療機関から講師を招聘した対面講義もしくはZoomを利用したWEB講義で代替した。

日程	対象学科	講師			オンライ ン
		医療機関名	役職	氏名	
2月1日 (月)	理学・作業療法学科	岡山リハビリテーション病院	看護部長	植田 明美	●
2月2日 (火)	理学療法学科	元横浜 DeNA ベイスターズトレーナー	理学療法士	高橋 塁	
2月12日 (金)	理学療法学科	NP デイサービスやしまりハビリステーション	理学療法士	永岡 誠司	
2月15日 (月)	作業療法学科	井原市民病院	作業療法士	佐野 裕和	
2月16日 (火)	理学療法学科	KKR 高松病院	理学療法士	長井 梓苑	
	作業療法学科	老人保健施設 ゆめの里	作業療法士	中空 聡志	
2月18日 (木)	理学・作業療法学科	岡山旭東病院	医療技術部長 理学療法士	片岡 孝史	
2月19日 (金)	作業療法学科	合同会社キングコング 就労移行支援事業所 GoRiLla	代表社員 作業療法士	仲地 宗幸	●

2月22日 (月)	理学療法学科	水永リハビリテーション病院	リハビリテーション部主任 理学療法士	宮内後 栄次	
2月25日 (木)	理学・作業療法学科	水永リハビリテーション病院	リハビリテーション部部長 作業療法士	古澤 潤一	
2月26日 (金)	作業療法学科	海辺の杜ホスピタル	作業療法士	佐野 秀平	●

● 健康診断

・健康診断（4月30日から6月15日に変更）

● 朝食サービス

例年行っていた朝食サービスを中止した。

● 入学者選抜

総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等において新型コロナウイルス感染症により受験できなかった場合の追試験日を設定し、追加入学検定料なしで受験できる機会を設けた。